

平成23年6月
袋井市議会定例会
一般質問通告内容

袋井市議会

＝本会議インターネット放映のお知らせ＝

本会議の様子が、自宅のパソコンで見ることができます。
袋井市のホームページに接続し、袋井市議会のコンテンツの中に「袋井市議会のインターネット中継」があります。ホームページアドレスは、次のとおりです。

袋井市 <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>

袋井市議会（インターネット中継）

<http://dvlsv.city.fukuroi.shizuoka.jp/view/2.html>

●傍聴者の皆様へ：携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

一般質問通告議員

6月14日（火）

【午前質問予定の議員】

ページ

1番 芝 田 禮 二 議員 …… 1

2番 寺 田 守 議員 …… 2

3番 寺 井 雄 二 議員 …… 3

【午後質問予定の議員】

4番 佐 藤 省 二 議員 …… 4

5番 田 中 克 周 議員 …… 5

6番 廣 岡 英 一 議員 …… 6

6月15日（水）

【午前質問予定の議員】

7番 沼 上 賢 次 議員 …… 7

8番 浅 田 二 郎 議員 …… 8

9番 山 田 貴 子 議員 …… 9

【午後質問予定の議員】

10番 高 橋 美 博 議員 …… 10

11番 寺 井 紗 知 子 議員 …… 11

12番 高 木 清 隆 議員 …… 12

質問順序	1	議席番号	13	質問者	芝田 永豊 二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 津波対策について</p> <p>東日本大震災の津波を目の当たりにして、東海地震、東南海地震、南海地震が連動して発生する危険が高まっていることにかんがみ、浅羽南部地域の津波対策を緊急的に行うことが求められている。</p> <p>(1) 災害弱者の救済について、公助の立場で地域連携を密にして、避難方法をしっかりと計画を立てておくべきと考えるが市の考えは。</p> <p>(2) 本市の海拔5メートル以下の地域に住む世帯数と住民の数の把握は。</p> <p>(3) 海拔5メートル以下の住民に対する避難の呼びかけと避難方法の構築について、市の考えを伺う。</p> <p>(4) 海拔表示板と避難方向の表示板の設置を、緊急課題として本年度中に設置すべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 浅羽南・東地域に「平成の命山」なる避難タワーを最低5カ所は必要と考えるが、市長の所見を伺う。</p>					
<p>2 浜岡原発全炉停止について</p> <p>東海地震の震源域の真上にある浜岡原発、福島第一原発事故を見れば、全炉停止はやむなしとの評価のある中、今後の安全性を問う。</p> <p>(1) このたびの唐突ともいえる全炉停止要請で、地元では大変混乱している。原発停止の要請を市長はどのように感じ、評価されているのか。</p> <p>(2) 安全対策を講じた後の浜岡原発の運転再開はあり得るのか、また再開に対する市長の基本的考えを伺う。</p> <p>(3) 原発停止による電力不足と危険区域30キロメートルの圏域による本市への企業誘致・観光・住民移住等の影響はあるのか。</p>					
<p>3 節電対策について</p> <p>夏の電力需要に行政も、企業も、市民も一丸となって対処するときです。</p> <p>(1) 市民や関係出先機関への節電のお願いと節電指導は講じられているか。</p> <p>(2) 各企業の稼働日変更に伴い、本市の公立保育園の土日開園の考えはどうか。</p>					
<p>4 現病院利活用について</p> <p>6センターのうち、療養・リハビリ等、新病院の後方支援病院として公設民営の方針を打ち出したことについて</p> <p>(1) 療養病床の利活用について、掛川との統一の協議ができなかったか。</p> <p>(2) 民間事業者との交渉に関し、磐周医師会（袋井市医師会）との事前協議はどうか。</p> <p>(3) 掛川の民営化と本市の民営化の支援の違いは何か。</p> <p>(4) 後方支援病院の民営化による新病院の医師確保の影響について</p>					

質問順序	2	議席番号	6	質問者	寺田守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 道路整備</p> <p>自転車道路の整備について</p> <p>(1) 袋井商業高校西側歩道の自転車走行帯の整備 (2) 宇刈川の堤防管理道路の舗装整備 (3) 新設される袋井駅南周辺への自転車道と駐輪場の整備</p>					
<p>2 多文化共生</p> <p>在住外国人への支援体制について</p> <p>(1) 在住外国人の不就学児童の実態調査 (2) 小・中学校での外国人生徒の教育支援体制 (3) 初期支援教室の実態と成果 (4) 「虹の架け橋教室」との連携の必要性 (5) ポルトガル語版広報の配布実態 (6) 外国人リーダーの養成の必要性 (7) 多文化共生事業の国際交流協会の役割 (8) 国際交流協会の所在地の検討</p>					
<p>3 節電対策</p> <p>市庁舎の内部照明について</p> <p>(1) 照度カットの今後の実施期間 (2) LED照明など中長期的な節電計画</p>					

質問順序	3	議席番号	7	質問者	寺井 雄二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 防災対策について</p> <p>東日本大震災の教訓を活かすために、いつ起きてもおかしくない東海地震、東南海・南海地震に対する避難対策は早急の課題。</p> <p>(1) 避難対策を緊急避難と収容避難とに分けた対策が必要。 (2) 避難広報は同報無線及びサイレンとすべき。 (3) 避難場所への短縮課題をどのように理解しているのか。 (4) 海浜公園を計画しているが、その中に避難場所の検討をすべき。 (5) 市長として震災現場を視察されたが、この視察をどのように活かすのか。</p>					
<p>2 教育問題について</p> <p>家庭における親の教育（しつけ）は将来の子供たちの人間形成の場であり、学校教育とともに子供たちにとって大切な教育の場である。</p> <p>(1) 家庭のしつけについて、学校教育との交わりではどのように指導されているのか。 (2) 学校において子供たちに対して、規律・礼儀・信義についてどのように指導されるのか。 (3) 子供たちが個々に持っている潜在能力をどのようにして引き出すのか。</p>					
<p>3 生活問題について</p> <p>国民健康保険事業運営の財政安定のためには、収納率向上対策が求められる。負担の公平性を保つためには必要な対策である。</p> <p>(1) 滞納世帯に対して、収納率向上策はどのようにされようとしているのか。 (2) 保険税を滞納して「無保険」となっている世帯に対しての指導はどのようにしているのか。</p>					

質問順序	4	議席番号	19	質問者	佐藤省二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 市民と行政とのパートナーシップ</p> <p>(1) 地震対策の新たな取り組み ア 担当職員配置の19支部全体の職員配置は何人か。職員も担当地区を決め、進める計画か。 イ 見直しの内容について (ア) 地域防災対策会議は何回くらいを予定しているか。 (イ) 発災想定は、マグニチュード8で変わりはないか。 (ウ) 復興対策についても議論するのか。 (エ) 津波対策など、地震対策に向けた計画的整備が必要と思うが、予算措置は何年計画で進めるのか。 (2) 新たなまちづくり事業 ア 人材育成事業の取り組みはどのようなのでしょうか。</p>					
<p>2 公民館のあり方</p> <p>(1) 公民館の人口規模格差の拡大について、議論がなされているか。 (2) 分館機能を持つことはどうか。(例) 宇刈いきいきセンターの活用 (3) 職員の増員も解決方法かと、提案します。</p>					
<p>3 農業振興ビジョンの目指す方向</p> <p>(1) 平成22年度に耕作放棄地が40ヘクタールふえた理由。 ア 2010年農林業センサスから見えてくるものとして、袋井市の農業は、農業人口の減、耕作放棄地の増、平均所得の減などを、どうとらえているか。 イ 認定農業者や農業法人の増、会社の進出や助成制度の状況から見て、改革が進展しているか。 ウ 耕作放棄地を出さないための取り組みにおいて、地域農業再生協議会の組織化や再生利用計画の作成、土地持ち非農家などの登録制度についてどうか。</p>					
<p>4 震災復興支援</p> <p>(1) 「オール袋井」で震災地を支援する取り組みについて ア 趣旨と目的について イ 今後の取り組みと予定について ウ 民間の発想と行動をサポートすべきではないか。</p>					

質問順序	5	議席番号	8	質問者	田中克周
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 東日本大震災の影響について</p> <p>本市に与える財政面及び事業面並びに震災対策面での影響をどう考えるか。また、その対処はどうしていくのか。</p> <p>(1) 今後の地方交付税、国庫補助金、県補助金など依存財源全般の動向について、どのように想定されるか。また、財政面でどのような影響があるか。</p> <p>(2) 発災後の消費の落ち込みにより、個人所得や法人所得の大幅な減少が懸念される。市民税収入の動向をどう予測するのか。また、中・長期の財政見通しは、どのように変化するか。</p> <p>(3) 今後、本市が予定している事業への影響はどうか。</p> <p>(4) 政府は、震災復興財源として、国家公務員給与を10%削減することを決定した。地方公務員の給与削減については、各自治体に任されている。本市はどう考えるのか。</p> <p>(5) 自動車関連企業は、土・日稼働の木・金休日を7月～9月まで実施する。小・中学校、保育園などについて、本市の対応はどうか。</p> <p>(6) 家屋の耐震化助成事業及び家具の転倒防止事業の利用状況はどうか。また、ガラス飛散防止シートをはる予防措置についてのPRもすべきと考えるがどうか。さらに、これらの普及促進の面から、防災士の育成はどうか。</p> <p>(7) 「命のバトン」と呼ばれる「救急医療情報キット」の全戸配布を希望するが、当局のお考えをお聞きます。</p> <p>(8) 被災地支援の「オール袋井」とは。その目的と組織体制は。また、民間の「釜石市の子供達を応援する会」（チーム袋井）の活動をどう考えますか。</p> <p>(9) 被災者支援基金の設立と被災者支援基金条例の制定を提案するがどうか。</p>					
<p>2 分庁舎の利用について</p> <p>東分庁舎「コスモス館」及び北分庁舎「きんもくせい」が利用されて1年が経過しました。</p> <p>(1) おおのの利用状況と評価は。また、利用上の問題点は何かありますか。</p> <p>(2) 「コスモス館」1階は、行政と関わりの深い組織や団体の事務所等に、また、「きんもくせい」は、管理人を置き、市民が入りやすくすることが大切と考えます。加えて、市の広告塔としての役目も期待しますが、当局のお考えをお聞きます。</p>					

質問順序	6	議席番号	3	質問者	廣岡英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 財政見直しについて</p> <p>東日本大震災が起こり、国会は重要法案が審議途中であり、高齢社会が現実化しようとしている。本市の財政見直しに課題はないか。</p> <p>(1) 団塊の世代が高齢者へ仲間入りする影響は。 (2) 後期基本計画の歳出配分への影響は。</p>					
<p>2 新たな行政経営方針について</p> <p>後期基本計画の「5つの行政経営方針」のうち、次の2つは、方針の目的や事業の推進がまだまだ同じ価値観に至っていない。その後の経緯や考え方を問う。</p> <p>(1) 市民と行政のパートナーシップの推進について ア この政策を進める根本的な理由と目的は。 イ 「公民館のあり方について」のその後は。 ウ 「市民と行政のパートナーシップによる新たなまちづくりについて」のその後は。 エ 災害対策支部で行っている地震対策のハード支援は。 (2) 「農を活かしたまちづくり」について ア 「農を活かしたまちづくり懇話会」での議論は。 イ 市民生活の質を高めるとは。 ウ 分散社会の視点が大事ではないか。</p>					
<p>3 袋井らしい地域づくりについて</p> <p>平成21年度、三川地区で行った「地方の元気再生事業」は、パートナーシップと農を活かしたまちづくりの先進事業として、学ぶ点が多いのではないか。</p> <p>(1) この事業の成果と課題をどのように認識し活かしているか。 (2) この事業は行政経営方針が求めている事業ではないか。 (3) 夢の里みつかわ土地利用研究会会長の思いをどのように受け止めているか。</p>					

質問順序	7	議席番号	4	質問者	沼上賢次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 防災対策について</p> <p>大震災を教訓とし、官民協働で危機管理を図り、万全な防災対策を。</p> <p>(1) 液状化被害の防止、また、被害が発生した場合の対策等、その課題とどう取り組むか。</p> <p>(2) 液状化が起こる可能性の高い地域へ、ハザードマップを掲示し、周知をすべきでないか。</p> <p>(3) 防潮堤の充実は欠かせないものとするが、ご見解は。</p> <p>(4) 緊急指定避難所として、高い建物の所有者の協力を得て、避難所指定の協力を結べないか。</p> <p>(5) 河川対策等、防災対策への取り組みについて、広域連携で進めることはできないか。</p>					
<p>2 環境整備について</p> <p>高齢化・障害者サポート環境整備は行政サービスの一環である。</p> <p>(1) 庁舎・支所や公共施設に、つえホルダーを設置できないか。</p> <p>(2) 上り階段に、スロープを設置し、バリアフリー化を促進できないか。</p> <p>(3) 庁舎北側の進入路に駐停車が多く見られる。歩行者への危険や直進車への妨げになっているため、駐停車の規制をすべきではないか。</p>					

質問順序	8	議席番号	17	質問者	浅田二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 大震災復興支援</p> <p>総合的、長期的な東日本大震災復興支援が求められている。</p> <p>(1) 「支援条例」(仮)を制定する考えについて (2) 積極的な被害者受け入れなどについて (3) 職員、教員の身分を保障した長期派遣について</p>					
<p>2 津波防災対策</p> <p>東日本大震災から津波の脅威を学び、本市に生かすことは緊急の課題である。</p> <p>(1) 3・11の対応について ア 大津波警報をどうとらえたのか。 イ 津波が防潮堤を越えないとの判断について ウ 海岸侵食をどうとらえているのか。 エ 地域住民の恐怖・不安にどう寄り添ったのか。 オ 「適切でなかった」という反省はあるのか。 (2) 津波対策とその決意について ア 津波をくい止める対策は。 イ 避難による人的被害を防ぐ対策は。 (3) 浅羽支所の強化と人員の配置について ア 支所および支所勤務職員の縮小の現状は。 イ 支所の所管区域は異常ではないか。 ウ 支所の役割・権限強化、職員増員が必要。</p>					
<p>3 ごみ対策</p> <p>ごみの減量化、不法投棄防止のため、プラスチックごみの分別のわかりやすさ、簡素化が大事です。</p> <p>(1) 「商品」という要素が分別に入るわけ。 (2) 容器包装リサイクル法について (3) 「その他プラスチック」の処理について</p>					

質問順序	9	議席番号	5	質問者	山田貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 自主運行バスについて</p> <p>自主運行バスの利用者をふやすため、どこから見ても一目で分かるラッピングバスにすべき。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 乗客をふやすためラッピングバスを取り入れることができないか。 (2) 現在の市内2業者における入札を改め、他のバス業者も参加させるべきではないか。 (3) 現在運行している業者は、指摘後改善がみられているか。 					
<p>2 防災対策</p> <p>東日本大震災をもとに市民の安全安心に活かす必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市内全域において液状化現象が予想されているが、特に山梨方面での対策はどのようにされているのか。 (2) 市内全域の中で土砂災害の発生が予想されている地域に対し、常にどのような指導をされているのか。また、対策はありますか。 					
<p>3 エコ対策について</p> <p>県において、メガソーラー建設計画が取りざたされているが、自然エネルギー対策として有効な政策です。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 袋井市として、場所の提供等を一考し、誘致の考えはないか。 (2) 袋井市の今後のまちづくりにエコ構想を取り入れることが必要と考えるが、その政策はあるのか。 (3) 市内全世帯に対して太陽光発電システムか太陽熱温水器の設置を図り、袋井独自のエコ対策を推進すべきと思うが。 					
<p>4 節電対策について</p> <p>浜岡原子力発電所の運転停止に伴う電力供給の計画停電を回避させるため、節電目標を立てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 消費電力15%削減の取り組みはできるのか。具体策は。 (2) 開庁時間を変更し夏時間を設け、残業ゼロを目指せないか。 (3) 企業により7月から9月の3ヶ月間、土日に稼働させる方針が決まったことで、これに関わる市民の保育園児や低学年児童の一日保育を設ける必要があるが。 					

質問順序	10	議席番号	18	質問者	高橋美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 市長の原発への認識について</p> <p>3月11日発生した東日本大震災では地震・津波被害に加え、原発事故が重なり未曾有の大災害となった。いまだ収束のめどの立たない原発事故は災害の備えが不十分で人災ともいえる。この原発への市長の認識を伺う。</p> <p>(1) 福島第一原発の惨状を目の当たりにして市長の認識はどう変わったのか。 (2) 世界一危険といわれる浜岡原発は永久停止とすべきと考えるが市長の認識はどうか。 (3) 袋井市の原発事故への備えはどうか。市独自での放射能の計測、簡易測定器の配備、ヨウ素剤の備蓄など。</p>					
<p>2 電力不足への本市の対応について</p> <p>浜岡原発の運転全面停止により電力不足が心配されるが、本市の対応は十分か。</p> <p>(1) 本市の節電目標とその対策はどうか。 (2) 自然エネルギーの導入促進を図り、原発依存から抜け出す立場を鮮明にすべきではないか。</p>					
<p>3 静岡式35人学級編成について</p> <p>県が進めている「静岡式35人学級編成」実施による教室不足が心配される。袋井市の学校には問題がないのか伺う。</p> <p>(1) 袋井市内の各校の児童数・学級数の現状と今後の見通しはどうか。 (2) 周南中は現状でも空き教室がなく、山名小学校区の児童数増加により教室不足となる。どのように対処するのか。</p>					
<p>4 高齢者在宅福祉サービスについて</p> <p>全国各地で実施されている高齢者等訪問理美容サービス事業について市の考えを伺う。</p> <p>(1) 「理容店や美容院に出向くことが困難な在宅の高齢者に対して、訪問理美容出張サービスを提供して、より快適な在宅生活を実現する」という事業を本市でも実施できないか。</p>					

質問順序	1 1	議席番号	2 2	質問者	寺井紗知子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 防災</p> <p>(1) 市民と行政のパートナーシップによる新たなまちづくりの推進体制は、一時凍結と考えてよいか。</p> <p>(2) 地震対策の行動計画、避難計画の策定に至る過程での多様なパートナーシップについて</p> <p>(3) 防災対策の新たな取り組みとして ア 液状化対策への取り組み イ テーマ別のハザードマップを防災マップとして取りまとめることについて ウ 耐震化対策の対象家屋の拡大について エ 「環境照明灯」の設置について</p> <p>(4) 防災課の分掌事務の見直しはどうか。</p>					
<p>2 教育環境の整備</p> <p>(1) 小・中学校の整備計画について</p> <p>(2) 幼稚園教諭の産休・育休への対応は。</p> <p>(3) 嘱託・臨時職員の待遇改善の考えは。</p>					

質問順序	1 2	議席番号	1 4	質問者	高木清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 障害者の自立支援について</p> <p>障害者ができるだけ地域で自立して暮らせるようにするために、日常生活や社会生活の支援を図っていく必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 身体障害者の概況について伺う。 (2) 就労・雇用の状況について伺う。 (3) 障害者の特性を踏まえたきめ細かな職業相談・職業紹介への取り組みについて伺う。 (4) 障害者雇用の場の拡大のための事業主に対する支援について伺う。 (5) 雇用施策と福祉施策との連携について伺う。 					
<p>2 子供の放課後支援について</p> <p>小学校期の子供の現状や地域の状況を考えたとき、放課後児童クラブの質を高めていく取り組みが必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 放課後児童クラブの運営状況について伺う。 (2) 施設運営における課題と適正規模について伺う。 (3) 放課後児童クラブに入れない子供への対応をどう考えるか。 (4) これからの放課後児童クラブ事業に求められることは何か。 					
<p>3 非正規職員の位置づけについて</p> <p>正規職員と同様に、非正規職員（非常勤嘱託・臨時的任用職員）においても、長期的な視点での確保及び継続雇用が、行政組織にとって重要な経営課題と考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 正規・非正規職員との業態別雇用比率について伺う。 (2) 非正規職員の任用理由について伺う。 (3) 非正規職員は必要不可欠か。 (4) 非正規職員にもスキルアップが必要ではないか。 (5) 正規職員への登用の考えはあるか。 (6) 職員の意欲や持っている能力を最大限に発揮させるには、正規・非正規職員の区別なく、長期的な信頼関係の構築が必要と考えるが。 					